

メトロ・ワールド・チャイルド 第23回オペレーション・ホリデー・ホープ！

クリスマスの週にメトロの教会学校に参加した子ども全員にプレゼントを渡します！



ご支援なくして昨年を上回る子どもたちにプレゼントを渡すことは不可能です。あなたのご協力をお願いします。 ビル・ウィルソン

ひとりでも多くの子どもたちに「神の光」を届けよう！

「今はムリだよ、運転中だからね」ビル先生は前を向いてバスのハンドルを握ったまま答えました。運転席の横には女の子がいて、新聞紙の上からテープでぐるぐる巻きにした贈り物を小さな両手で差し出したままじっと待っていたのですが、待ちきれなくなってビル先生に「開けて！」とだだをこねたのです。

それが忘れられないクリスマスプレゼントになるうとは、その時のビル先生は知る由もありませんでした。しばらくしてようやくバスを路肩に止めたビル先生は女の子に向き合い、その包みを開けました。出てきたのは聖誕シーンの置物…壊れていて、薄汚れていて、きっとどこかで拾ってきたのでしょう。でも、心のこもった贈り物です。

「ありがとう！」ビル先生はそう言うと女の子を抱きしめ、それからバスの座席に座らせようとしていました。

すると、「待って。これ、包まないで…」とその子は言うのです。ビル先生は意味がわかりませんでした。今開けたものを包むって、どういうことでしょうか。このやりとり気づいた子どもたちが集まってきて成り行きを見守っています。女の子は置物をそっと手で包み込みました。それを見たビル先生は、その上に自分の手を重ねました。中を覗き込むと蛍光プラスチックでできた赤ちゃんが見えます。「見て、ビル先生。イエス様が暗闇で輝いてるの。」バスの中は静まり返っていました。あんな不思議な瞬間は二度と作り出せないでしょう。 一次ページへ

すぐに同封の用紙をご覧ください！

ケニア学用品支援 11/22

まだまだ間に合います！

オペレーション・ホリデー・ホープ

今月号の目次

- P2…ビル師からのお礼／祈りの輪
- P3…ケニア学用品支援／ビル師からのメッセージ
- P4…重要なお願い／日本事務所の基本情報

ひとりでも多くの子どもたちに 「神の光」を届けよう！

1 ページからの続き—

しかし、そこには確かな事実がありました。光は暗闇の中でこそ輝くということです。

イエスは世の光としてこの地上に來られました。毎年クリスマスには、世界中の子どもたちにこの光を届けたい…オペレーション・ホリデー・ホープはそのためにあります。これは、メトロが、1年で最も力を入れている活動です。

昨年は過去最高の25万3千人を超える子どもたちがクリスマスを祝うことができました。そして今年は、この記録を塗り替えたいと願っています！

でも、あなたのご協力がなければ、ニューヨーク、フィリピン、ケニア、さらに多くの国でたくさんの子どもたちに手を差し伸べることはできません。どうか、助けが必要な子どもへの贈り物をお願いします。1口1,500円で、一人の子どもにとってクリスマスが以前より嬉しく明るいものになるのです。

毎年、子どもたちは特別な何かを期待してメトロにやってきます。そして、あなたのご支援のお陰で、期待どおりの（あるいはそれ以上の）経験をするようになるのです。子どもの心に忘れられないクリスマスを刻むために、今、あなたにできることをご検討ください。

アメリカ・フィリピン・ケニアへのOHH支援を募集しています。

1口1,500円でおひとり何口でもお申し込みいただけます。

お申し込みは日本事務所まで。

感謝と期待を込めて

皆さんご存じの通り、昨年の10月、私はシリアでメトロの活動中に背後から銃で撃たれました。防弾チョッキを着用していたために一命は取り留めましたが、衝撃で肺に穴が空き、頭蓋骨骨折と脳震盪の後遺症が懸念されたため、通常の活動をする事ができなくなりました。

クリスマスには毎年、オペレーション・ホリデー・ホープのために、私の各地の講演やテレビでのチャリティー募金の呼びかけによって非常に多くの献金を集めていましたので、クリスマスを前にして危機的状況に陥りました。

しかし、私の呼びかけに応じてくださった世界中の支援者の皆様の力によって、最終的には、今までで一番多くの、25万3千102人も子どもたちにクリスマスプレゼントを渡すことができました。本当にありがとうございます。

これはすなわち、メトロの教会学校で25万3千人以上の子どもたちと、その周りで見学していた大人たち、近隣の人々が、イエス様の話を聞くことができたということです。皆様の支えに対し、感謝を言い表す言葉も見当たりません。

私たちは、毎年活動地域を広げ、関わる子どもたちとその家族の数を増し加えてきました。ですから、今年はさらに多くの子どもたちにOHHを通してイエス様の福音を伝え、イエス様の愛をプレゼントという形で手渡したいと願っています。

あなたのお住まいの地域でも、メトロの活動する地域でも、今年が昨年を超える最高の、そして本物のクリスマスになりますように！

心を込めて

牧師 ビルより



2

祈りの輪



メトロのパートナーであるあなたは、祈りと支援を通じてメトロの働きを担ってくださる貴重な存在です。どうか共に祈りください

- ・オペレーション・ホリデー・ホープのためのすべての必要が満たされ、プレゼントを受け取ったすべての子どもが救いという本物のプレゼントを受け取ることができすように。
- ・メトロが支援している子どもたちとその家族の生活に、神の臨在と力がさらに増し加えられますように。
- ・世界各地でメッセージを語りメトロの活動を広めるビル師のために。

アーメン！感謝します！

ケニアの新学期用学用品支援募集



ケニアでは、1月から新年度がスタートします。新年度の始まりは、子どもたちにとって最も楽しくエキサイティングな時のはずですが、それは新年度を迎える準備ができていない場合のことです。メトロの活動する極貧地域では、子どものために新年度の準備を整えることは、親たちにとって大変な負担です。

私たちは、子どもたちが喜んで勉強し、毎日学校に通って、自分らしい人生を切り開くために必要な基礎学力を身につけるチャンスを提供したいと考えています。

メトロのキャンペーンを通して、ケニアの子どもたちを支援することができます。彼らが新年度の始まりを心待ちにできるような新しいブックバッグをプレゼントしてください。このバッグは、ノート、バインダー、フォルダー、鉛筆、ペン、定規、クレヨンその他の学用品でいっぱいです。

同封のお申込用紙をご覧の上、早めにお申し込みください。締め切りは、11月22日(木)です。



ビル師からのメッセージ

GET MOVING…行動し続けること

こうして机に向かってあなたに手紙を書きながら今、様々なことへの感謝に満たされています。とりわけ、あなたのような友がずっと私と共にいて支えてくれたことに心から感謝しています。この思いはこれからも抱き続けることでしょう。

マタイの福音書第9章35～36節を研究していた時のことです。イエスが町や村を巡って、教え、福音を宣べ伝え、病気を癒される場面です。この部分の記述はイエスの働きを非常に的確に表していますが、私が着目したのは36節です。「また、群衆を見て…彼らをかわいそうに思われた (moved with compassion : 憐れみにつき動かされた)。」

「つき動かされる (moved)」という言葉には「行動を起こす」という意味もあります。長いこと私をご存じの方は、すでに聞かれたことがあるでしょう。私はよく「ビル先生、ニューヨークへ行けという神様の召しがあったのはいつですか」と質問されますが、私の答えに驚く人もいます。しかし、

私の答えは変わりません。「召しなどありません…目の前の『必要』が召しだったのです。」

単純なことです。子どもたちは絶望的な状況にあるのではなく希望を持ってないだけということがわかった私は、その希望を与えるのが自分の役割だと知りました。私がすべきことは、一人でも多くの子どもにイエスを伝えること、それだけだどわかったのです。

今も、そのための扉は世界中で開かれています。そこには「必要」があります。ですから私たちは、救いの手を差し伸べ、何かをせずにいられないのです。そして毎月子どもたちへの支援金を送ってくださるあなたの行動も同様に「憐れみにつき動かされた」ものなのです。感謝します。

心を込めて

ビル・ウィルソン

日本事務所からのお知らせとお願い

！ 手紙の同封物のお願い

子どもたちへ、誕生カードやクリスマスカードなどをお送りいただき感謝申し上げます。手紙に同封いただく物についてお願いがあります。

シールやしおりなどを同封していただいても構いませんが、明らかに品物が入っていることがわかるものはご遠慮ください。途中で開けられて没収されたり盗まれる危険があります。

できるだけ定形の封筒に1センチ以内に収まる程度でお願いします。

11月は現地視察ツアーがあるため、今回お送りいただきました物は、万代牧師が現地に持参いたしますが、通常は返品させていただく場合がございますことをご了承ください。

！ 子どもと皆様を守るために

皆様からお送りいただきました手紙とプレゼントは、現地スタッフがすべて中身を確認し、子どもにとって危険な物や不適切な物、皆様のことが特定できる情報などがある場合は、削除や破棄させていただきますのでご了承ください。

極貧地域に住んでいる人々は、私たちの想像以上に生きる知恵があり、必要以上の情報は悪用されたり、ネットで探し出されたりします。皆様の安全のために、友だち申請などメトロを通さない連絡には直接返事をしないでください。

メトロでは、50年にわたる様々な経験により、子どもとスポンサーの方々をどのように守るべきかというノウハウを元に、双方にとって最善の対応を心がけています。

スポンサー(里親)募集中！

メトロ・ワールド・チャイルドでは、常時、新しい子どもの里親を募集しています。

多くの方々にご支援をいただいておりますが、メトロ・ワールド・チャイルドの働きは、急激に拡大を続けています。

メトロの教会学校に熱心に通ってくる子どもだけを対象としていますが、サポートの必要な子どもたちもどんどん増え続けています。

身近な方々で子ども支援に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、お知らせください。

ご検討いただくために必要な資料をお送りいたします。

子どものご支援金額は、ひと月4,500円です。

日本事務所よりごあいさつ！

今年は、アメリカに1回、フィリピンには2回目の現地視察ツアーを開催することができて嬉しく思います。

やはり現地でその状況を目の当たりにすると、日本とは全く違う環境に驚き、ショックを受けます。そして、メトロの働きの重要性を実感します。

子どもたちはスタッフに会えるのを心待ちにしています。フィリピンでは、この秋にも日本から研修に行かれた方がいます。現地からの報告では、本当に熱心に学びをし、子どもたちにも大変慕われているそうです。その成果を日本で実践できることを期待しています。

メトロの働きをいつも支えてくださる皆様に心から感謝申し上げます。

皆様の上にも主の守りと祝福を祈ります。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座4-5-1

教文館6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <http://metrojapan.seesaa.net/>

すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン

